令和４年産地域特産野菜生産状況調査結果

―　地域特産野菜の収穫量は令和２年産に比べ６％減少　―

【調査結果の概要】

１　地域特産野菜計

作付面積は１万1,700haで、令和２年産に比べ600ha（５％)減少した。

収穫量は22万3,400ｔで、令和２年産に比べ１万3,800ｔ（６％）減少した。

出荷量は20万6,300ｔで、令和２年産に比べ１万2,000ｔ（５％）減少した。

２　葉茎菜類

作付面積は7,300haで、令和２年産に比べ280ha（４％）減少した。

収穫量は12万5,400ｔで、令和２年産に比べ9,000ｔ（７％）減少した。

出荷量は11万2,600ｔで、令和２年産に比べ7,900ｔ（７％）減少した。

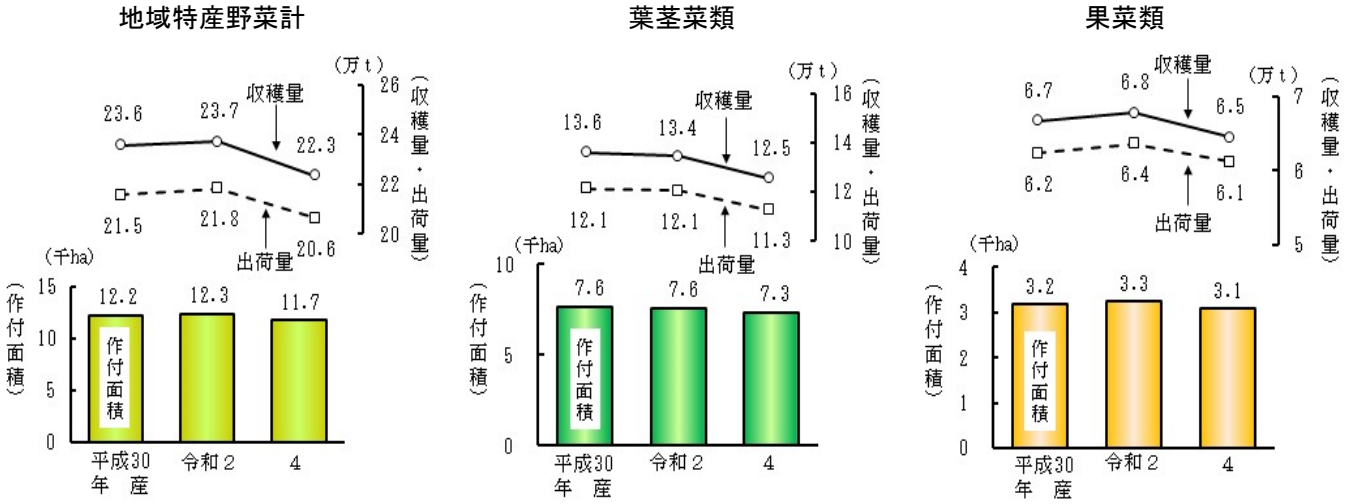
３　果菜類

作付面積は3,100haで、令和２年産に比べ150ha（５％）減少した。

収穫量は６万4,500ｔで、令和２年産に比べ3,300ｔ（５％）減少した。

出荷量は６万1,200ｔで、令和２年産に比べ2,400ｔ（４％）減少した。

図　地域特産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量（全国）の推移



○　地域特産野菜とは、各都道府県において生産される多様な野菜であり、本調査においては、収穫量がおおむね200ｔ以上の野菜を対象とした。